

第7回 ポスト・コロナの市民連帯を展望する研究会

日時：2022年7月16日（土）13時～15時30分

場所：生活クラブ オルタナティブ生活館
（新横浜駅下車徒歩13分） ※オンライン併用

講演：田中 夏子さん イタリア協同組合研究者／農業者

<講演テーマ>

「生きる・暮らす・働く」を支えるコモンズを どう創り、担い、広げるのか ～連帯経済の役割～

ポスト・コロナの市民連帯を展望する研究会は、昨年7月にスタートした。これまでに6人のゲストスピーカーを招きお話を伺ってきた。今回は、田中夏子さんをお招きする。

田中夏さんは、イタリア協同組合研究者として、「社会的協同組合（社会的排除と闘う活動）」や「コミュニティ協同組合（再生可能エネルギー等地域資源を軸としたイタリア中山間地の地域再生事業）」を日本の協同組合に紹介し、協同組合の今日的な課題を提起してきた。また、自身、農業者の途を志すと共に、地元長野県の高齢者生協の理事長として、「現場」の活動の実践者でもある。

田中さんは昨年12月の講演（参加型システム研主催の研究フォーラム）で「協同組合はコモンズを構想し、定義し、生み出す“拠点”であるべき」と提唱している。

本研究会では、田中さんが暮らす長野県での実践を踏まえつつ、協同・協働の拠点づくり（コモンズ論）や連帯経済の役割についてお話をいただく。



プロフィール

イタリアの社会的協同組合やコミュニティ協同組合やワーカーズ・バイ・アウトによる事業再生(注)を研究しています。

2013年から農ある暮らしを志し、27年間の雇用労働からひとまず撤退し、自営的な暮らしを組み立て中。

長野県佐久市にて農園 Vento e Terra (風と土) 園主。

長野県高齢者生活協同組合理事長 (2019年7月～)

注：ワーカーズ・バイ・アウトとは、労働者が経営困難な企業を、ワーカーズコープとして再生すること。

<お申込み>

下記アドレスに、氏名、所属、メールアドレスを送ってください
t.ohishi@lively-citizens-fund.org

主催・お問い合わせ：公益財団法人かながわ生き生き市民基金
TEL 045-620-9044